



岩田榮吉《日本人形(トロンブリユ)》1978年 油彩 東京藝術大学大学美術館蔵

# トロンプ ルイユの 現在 いま 2021

*Trompe-l'œil, Today*


- 出展作家 -

岩田榮吉      城戸義郎  
伊牟田經正    小林聡一  
中原未央      池田誠史  
鳥越一穂      山本大也

2021.4.17 | Sat ~ 2021.7.19 | Mon

【開館時間】 10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

【休館日】 毎週火曜日 【観覧料】 500 円 (保護者同伴の中学生以下 1 名無料)

【後援】 **NHK** 横浜放送局  神奈川新聞社

横浜本牧絵画館  
Yokohama Honmoku Gallery

〒231-0822

神奈川県横浜市中区本牧元町 40-7

TEL:045-629-1150 FAX:045-629-1151

公式HP : <https://www.yh-g.org/>

関連HP : <https://www.iwata-museum.org/>

トロンプ  
ルイユの  
現在いま  
2021  
*Trompe-l'œil, Today*



伊牟田経正 (1934-2018) Tsunemasa Imuta  
《刻まれた時》1976年油彩／キャンバス



中原未央 (1986-) Mio Nakahara  
《Life box-Ichigo II》2020年ミクストメディア／キャンバス



山本大也 (1986-) Daiya Yamamoto  
《カードホルダー》2012年油彩・鉛筆／キャンバス



城戸義郎 (1941-2015) Yoshiro Kido  
《地球儀 (トロンプレイユ)》1989年油彩／キャンバス



岩田榮吉 (1929-1982) Eikichi Iwata  
《アルカン (トロンプレイユ)》1980年油彩／キャンバス



池田誠史 (1971-) Masafumi Ikeda  
《Display shelf》2013年油彩／板パネル



小林聡一 (1975-) Soichi Kobayashi  
《Trompe-l'œil - 喫煙具》2020年油彩／キャンバス



鳥越一穂 (1974-) Kazuo Torigoe  
《XIX I MCMXXI》2021年油彩／銅板

## “トロンプレイユ”とは？

### 1. トロンプレイユ=だまし絵 ではない

トロンプレイユ (trompe-l'œil) は、一般に「だまし絵」と訳されますが、この訳をめぐって様々な誤解や混乱が起きています。フランス語の辞書でトロンプレイユ (trompe-l'œil) の項を見ると、「実物と見まがうほど写實的に描かれた絵画」とあり、本来トロンプレイユとは写実表現の追求から生まれた絵画であることがわかります。ところが、「だまし絵」の中には、写實的ではないが、錯覚あるいは心理的誤認を誘引する表現の追求から生まれた絵画も含まれます。つまり、「トロンプレイユ=だまし絵」ではなく、「トロンプレイユ<だまし絵」なのです。

### 2. 見る人のいる現実世界との「つながり」が鍵

とはいえ、「実物と見まがうほど写實的に描かれた絵画」がすべてトロンプレイユということでもありません。何が違うのでしょうか。その違いは、見る人のいる現実の世界との「つながり」にあります。額縁の中などで完結している絵は、描かれた世界と見る人のいる現実の世界との間に「つながり」がありません。これに対してトロンプレイユは、例えば見る人のいる部屋の窓のように、部屋にある調度品のように、あるいは部屋の壁に掛けられた何かのように描かれ、また、額の中の絵の世界から見る人のいる部屋の中に飛び出てきたように、あるいは見る人のいる部屋の中から何かが入り込んでいったように描かれます。

「**絵筆のアクロバット**」を超えて  
トロンプリュユの現在いま 2021 | 展示にあたって

2019年に引き続き、2回目のトロンプリュユ展を開催いたします。出品作家は前回の5名から、今回新規に3名の方々のご参加をいただき8名となり、それぞれのアプローチの面白さを味わっていただくとともに、志向する方向の共通点も浮び上って、「トロンプリュユの現在いま」をよりよくご理解いただけるものと思います。

「**だまし絵**」と訳されることの多いトロンプリュユですが、トロンプリュユは「**だます**」ことを主眼とせず、ただ額縁の中に別世界を構成する写実絵画とも違い、質感描写と遠近表現の追求を基本に、見る人の居る空間とつながっているかのような絵画空間を現出させます。トロンプリュユには、絵画の伝統を踏まえた高度な制作技法が必要なのです。

しかし、高度な技巧をアクロバチックに誇示するだけでは、作品に嫌みが増すばかりです。当館のメインコレクション作家である岩田榮吉は、トロンプリュユとは「**絵として非常に良いものを作ろうとした**」結果でなくてはならないと語っています。2019年の前回は引き続き、「**絵筆のアクロバット**」を超える様々な取組みをお楽しみいただければ幸いです。



『トロンプリュユの現在いま 2019』会場風景

## 横浜本牧絵画館

Yokohama Konmoku Gallery



当館は、横浜の名勝「三溪園」に近く、絵を見ることが好きな方、絵を描くことが好きな方のための、具象絵画を中心とする私設美術館です。

### 岩田榮吉(1929-1982)



当館は「岩田榮吉」の作品を中心にコレクションしております。岩田榮吉は、東京藝術大学油絵科を首席で卒業し、その後生涯バリエーションで制作を続けた画家です。フェルメールなどに代表されるオランダ17世紀絵画の影響を受ける一方、トロンプリュユ(だまし絵)を始めとして、伝統的な技法を用いた写実的な細密画を多く描きました。

### 公共交通機関からのアクセス

#### 元町・中華街駅より

(東急東横線・みなとみらい線)

ホーム横浜寄りを上り、4番出口右方「山下町」バス停から横浜市営バス8系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車  
所要約30分・徒歩1分

#### 横浜駅より

(JR各線、東急東横線、京浜急行、相鉄線、横浜市営地下鉄)

東口バスターミナルから横浜市営バス8系統・105系統  
「本牧車庫前」行「本牧元町」下車  
所要約40分・徒歩1分

#### 桜木町駅より

(JR京浜東北線、横浜市営地下鉄)

横浜市営バス11番乗場から105・106系統

又は2番乗り場から8系統

「本牧車庫前」行「本牧元町」下車 所要約30分・徒歩1分

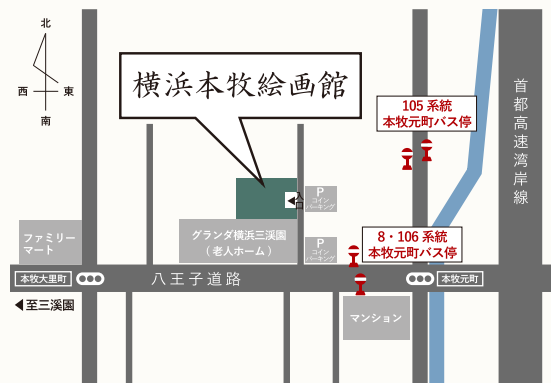
#### 磯子・根岸方面より

横浜市営バス58・101系統「和田山口」で下車、

道の反対側の横浜市営バス4番乗場8・106・105系統

「本牧車庫前」行「本牧元町」下車

「和田山口」から所要約10分・徒歩1分



※専用の駐車スペースはありません。(近隣のコインパーキングをご利用ください)  
※車いす用の来車スペースが1台分あります。ご利用は事前にご連絡ください。